

[資料]

名古屋市立第一幼稚園の昭和4年保育案

Daily curriculum and documentation of Nagoya Public kindergarten in 1929

上田 敏丈・坂倉 郷水

Ueda Harutomo, Sakakura Satomi

要旨 本資料は、名古屋市立第一幼稚園の昭和四年保育案を筆者らが書き写したものである。昭和初期の保育案は、全国に点在しているが、その数は少なく、当時の様子をうかがえる重要な資料と考える。

キーワード：名古屋市立第一幼稚園、昭和4年保育案

はじめに

名古屋市立第一幼稚園は、前身が私立名古屋幼稚園として1892（明治25）年に設置され、その後、1905（明治38）年名古屋市に公立移管された、名古屋市で最初の本格的な一般幼稚園である（名古屋教育史編集委員会 2013）。同幼稚園に残されている保育案等は、当時の保育の姿を検討するのに重要な資料であり、戦前の日本の幼児教育の歴史をとらえる基礎資料となっている（例えば、小山 2017 など）。

名古屋市立第一幼稚園の昭和4年保育案一の組（名古屋市教育センター所蔵、写真1）の資料を読み解くことで、当時の保育の様子が伺えると考え、現存する資料から、筆者等が読み解ける範囲で書き起こしたものである。

本資料をこのような形で掲載するにあたっては、名古屋市教育センターの許諾を得た。

1. 昭和四年保育案 一の組について

本資料の構成は、保育豫案として月曜日から土曜日までの行事予定が書かれ、保育方法及結果其他として、教諭の日記が書かれている。

また、昭和四年度の保育案として、9月11日から9月24日まで、11月11日から修了式の3月20日まで記されている。ただし、1月28日の週は記録が途切れ、その前と後ろとで筆跡が異なるため、担当教諭が変わったものと推測される。

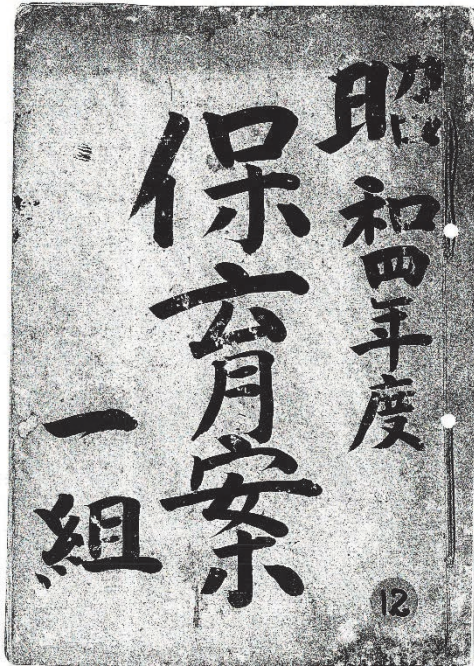


写真1 表紙

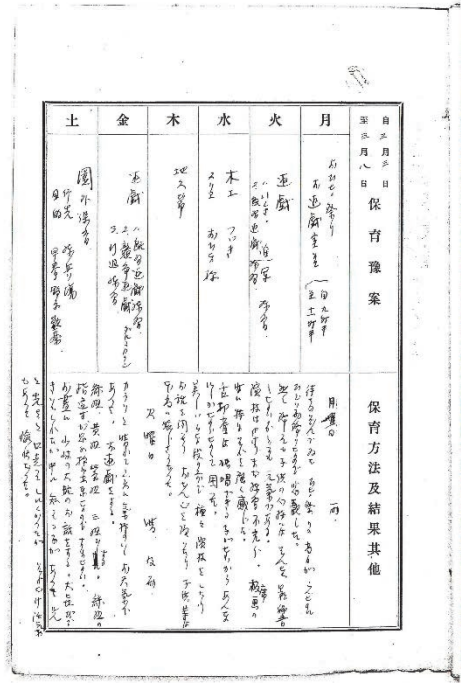


写真2 本文

次頁より当時の様子に合わせて、縦書きに書き起こしたものを週に1枚として掲載している。なお、文中の中において、□は判読不能であったこと、【 】の語句は推測である。

引用文献

- 名古屋教育史編集委員会 2013 「第4節教育分野の広がり」『名古屋教育史 I 近代教育の成立と展開』pp.364-372.
- 小山みずえ 2017 「戦前日本の幼稚園における年中行事の位置づけ-雛祭りを中心に」『幼児教育史研究』pp.1-12.

附記

本資料の書き起こしは、名古屋学芸大学大学院子どもケア研究科の授業「幼児教育学特論」の一環として行われたものである。

自九月十一日 至九月十四日 保育豫案	月	火	水	木	金	土	
保育方法及結果其他 九月十一日 水 晴 九月十一日 水 晴 四、五日来のうつ陶しい雨も今朝はからりと晴れて大変心持のよい日である。長い休暇の後のためか子供はみんな多少元気がない。始業式の後で各組でお遊戯をした。自分の体が自由に運べないので自然子供も活気がない。何とかしてもっと愉快に面白く遊びたいと思うけれど今しばらくの間が悲しい。			九月十二日 木 雨 今日は又朝からうつ陶しい雨で欠席者が多い。會集の時園長先生から狸のお話をして頂き【ラシャ紙】の□いので手提袋を作らせた。□簡単にハート形のを二枚切つて貼り付けるので各々一人で出来た。男の子は積み木、女の子は絵本の切抜等して遊ぶ。		九月十三日 金 曇 雨上がりの□□乾かないお庭に□る注意しても元気な子供は三、四人出てプランコ遊びをする。昨日につづいて手提袋のつづきをさせた。【畳紙】で蘭を作らせ出来上がりの袋へ貼らせる。あまり興味がないのがお庭へ出る事ばかり急いでる子が多い。兎の餅搗のお遊戯を教える。歌も遊びも知らず知らずの間に覚えてか順序と大体の形だけは皆出来た。		
九月十四日 土 晴 今朝はからりと晴れた清々しい大変心持のよい日で何る。今学期になつてから初めて今日は欠席者が一人で嬉しい。九時から例のお迎會をした。従前通りより幾分會の順序と方法を改めてしたが今日の會はおしまひ迄子供が長い時間の割合に静かであった。	○○先生のお話を皆で毘んで□いた。蓄音機を三、四枚かけて頂いたが一人も落付いて□く子はない。騒がしいばかりで駄目であった。初めてなのでそれだけの興味を持たないのかも分らない。十時半頃終わりお帰りをす。	備考 ○○○転宅のため退園 ○○○家事□合〃 ○○○病気のため〃 ○○○○○○○の宅	軽い風邪にて近い内出席とのこと電話す				

自九月十六日 至九月廿一日 保育豫案	月 手技（月夜の兎 □紙と絵）	火 遊戯（庭に出て□ばんを主として教える）	水 言語調査	木 〃	金 〃	土 〃			
九月十六日 月 曇 九月十六日 月 曇 気がよくなった為子供の出席もよく何とな く□□□□□□気分がいい。 今日の予定は月夜に兎の【□紙】をしよう 思っていたが今日から白組が言語調査をする の事 当分の間両組一【変】に保育する事と なり従って予案を臨時変更した。 お遊戯をお部屋で二、三人ずつ【交る交る】 させた。	九月十七日 火 曇 青組の先生欠席のため四組一【変】に遊戯 室で遊戯をするために大変騒がしくて落付 いて新しいのを教える事がむずかしい。自 分の体が不自由なので気がかり焦って何 事も出来ないのが何□と悲しい。砂場で 女の子はお饅頭を喜んで作る。柿の畳紙 をさせたが二組の子供は流石一人で出来 る子はない。世話好のサト子が一 人で七、八人のを一人で折って得意らしい 様子に面白い。	九月十八日 水 晴 今日から紫組の言語調査を始める事にした。 子供はすっかり白組に託して□□て頭の良 ささうな子から初めた。 完全なのは一人もないが大体に【於いて】 成績はいい方と思う。五人調査の内菱形と 灰色、【冊】の名詞が今日の共通欠点であ った。			九月十九日 木 晴 昨日につづき今日も會集を終わると直ぐ 初めた。出来ない【問】は誰しも【共通 である】。今日は七人もの検査が出来た。	九月廿日 金 雨 段々と検査の方法に慣れて今日は八人の テストができた。二組の子を一人調べて 思ったが成績に【就て】は左程の差もな いが時折折返も面白い返答が出るので 面白い。	九月廿一日 土 雨 子供はもう大分〇〇先生に慣れて愉快さ うに遊んでいる。 今日で調査が廿四人出来た。		

名古屋市立第一幼稚園の昭和4年保育案（上田 敏丈・坂倉 郷水）

	土	金	木	水	火	月	自九月廿四日 至九月廿八日 保育豫案
				園外保育	言語調査	秋季皇霊祭にて休園	
<p style="text-align: right;"> 九月廿四日 火 晴 今日で言語調査がすっかり終る。子供は白組と一【変】にお遊戯を教わる。鈴虫のお遊戯を○ ○先生に教えて頂いて女の子は得意になつてする。昨日から両組共○先生にお【礼】をする。 </p>							
Empty content area							

自十一月十一日 至十一月十六日 保育豫案	月 遊戯 (運動會遊戯) 競争遊戯の【練習】	火 遊戯 (運動會遊戯) 競争遊戯の【折紙】たぬき	水 描方 運動會の自由画	木 運動會競争遊戯 折紙 (郵便屋さん)	金 遊戯	土	
十一月十一日 月 雨 雨のため昨日は運動會が出来なくて残念であった。何だか今日はお稽古をするのも気の抜けたような変な感じがする。まだまだ拙も下手な遊戯であるから練習が出来て好都合なのであるけれど、【一四】の競争遊戯をするに於いての準備に時間を費やす方が多い。輪くぐり競技は余り興味が少ないのでいろいろに変へて見た。之迄した内で今日初めてした二人でか交互に【くいって】くるのが一番面白いように思った。 ○○○○○と○○○○の二人には閉にする。 十一月十二日 火 晴 風邪のためか二、三日来欠席者が多い。例の運動會の競技及び遊戯等のお稽古をした。【すぐ】上手と迄は行かないが一般に遊戯の伸び伸びとして軽く出来るようになって嬉しい。右左の手足の間違は子供としては止むを得ない。 ○○○○が塵紙で花を作って下さいと云ってやかましい。一人作れば私も私もと女の子にみな作ってやる。頭につけて大喜び。							
十一月十三日 水 晴 毎日お遊戯と競走遊戯ばかりしているせいか落付いて描方をするのを余り喜ばない。今日は保母の遊戯講習があるため零時半にお帰りする。 □はお□□りをした。運動會のお遊戯を今日もお稽古する。むづかしいと思つた□の律動も矢張り練習の結果が大変上手に出来るようになった。 十一月十四日 木 晴 輪くぐりとまり送りの競走遊戯をお庭でする。最初のころは赤組白組両方ともお互いに勝つても負けても平気なものでちつとも欲がなくて熱がなかつたが段々と慣れるに経つて今日は皆が元気に一生懸命で応援をした。 食後○ちゃんや○○○ちゃん等と久しぶりに鬼ごっこをする。私も仲間に入れて私も私もと大勢になる。自分に幾分□□元気が出て動けるようになって来たせいか子供等にも幾分活気のあるような気持がする。 ○ちゃんと○○○ちゃんが特に目立って元気になって来たように思ふ。 十一月十五日 金 晴 今日七五三のお祝いで一組と三組の子 十一月十四日 土 晴 【明日】は運動會なのでどの組もどの組も遊戯や競技に猛練習である。お遊戯も競技も余り毎日するためか							

	土	金	木	水	火	月	自十一月十八日 至十一月廿二日 保育豫案
	祭日	テーブル制作 夜まわり 遊戯 蛙の	自由画 紅葉の【葉】 塗絵	園外保育 籾を見学 北練兵へ稲の収	遊戯 蛙の夜まわり	運動會 休養日	
<p>十一月十九日 火 晴</p> <p>昨日迄は運動會練習の為毎日遊戯や競技で子供が落付かないせいが大変すべてのきまりが出来なくて困って居たが今日から当分の間訓練方面に注意したいと思ふ。</p> <p>お遊戯蛙の夜まわりを少し教えた。むづかしいかと思つたが案【外】子供は容易に□して興味を持つてする。</p> <p>十一月廿日 水 曇</p> <p>久し振りで園外に出掛る。北練兵場へ行く予定で阿つたが大変冷々してお天気が悪いため□□園に行った。滑り台の賑やかなこと其々ブランコその他の運動具で遊ぶ。日短なので直ぐにお帰りました。お草履玩具の整頓は出来るようになったがお食事の作法が乱れ勝ちでさわがしい。○○さんと○○さんの□作物【造り】をして□かす。</p>							
<p>十月（十一月？）二十一日 木 晴</p> <p>昨日の母の会に【見】て頂くのと松坂屋展覧会に提出する目的で十分の子供に注意を与えて自由画をかかせて見た。</p> <p>この時代の子供に多い模倣が特に女兒には多くていいのが出来ない。○○さんの飛行船 ○ちゃん電車 ○○さんの山に【落葉】の景色画が勝れているやうに思つた。皆さんも今度からこんな風に書くのですよと上中下に付けて其々批評をしておく。</p> <p>十月（十一月？）二十二日 金 晴</p> <p>今日は朝から大変冷々として□い。</p> <p>今朝の会集は子供が全体に落付がなくて騒々しかった。お遊戯の当番であるが前日の【つづ】きテーブルを今日完製したいと思ふので五つ程古いのをおさらいして置いた。いつのお遊戯の時も黄金虫は子供からの要求で二、三度する事に定めて居るので大変これだけは上手に出来る。午後一時から母の会があるため一時に子供を帰す。出席者十四名園長先生のお話につづいて其々子供の成績【表】を見せて終る。</p>							

自十一月廿五日 至十一月廿日 保育豫案	月 手技 自然物応用 銀杏の葉人形	火 遊戯 蛙の夜まわり	水 体重調査 遊戯(蛙の夜まわり)の練習	木 塗絵 (□□□)	金 遊戯	土 効□	
十一月廿五日 月 曇時々雨 銀杏の葉で簡単なお人形を作る。葉一枚と松葉一本で頭と着物になる。帯が松葉で逆もあつ□□したものであるが子供は方破らかしたり折ったりして上手に出来ない。墨で顔を書くともそれもお人形らしくなかった。 蛙の夜まわり一番だけは相当に出来るようになった。○○○が今日から来る。	十一月廿七日 水 晴 会集のあと直ぐにお部屋で体重を図る。○○さんがどうしても図るのが厭だと云ってきかない。着物のままなので二十分程ですんだ。 蛙のお遊ギ二番が漸く出来るやうになった。	十一月廿八日 木 晴 今日は二、三日【素晴】らしい暖かいいお天気である。こんな日に練兵場へと出て思ふ存分のんびりとした【気分】で鬼ごっこをしたらいいと思ふ。板面に一寸法師を書いたらこの塗絵がしたいと子供からの要求で、二分團に分け他は折紙(自由)にして塗絵をさせた。○○○さんが○○○の手をかきむしる。ちよつと自分が便所へ□□□間にこんないたづらをする。本当に○○○には持て余す。	十一月廿六日 火 晴 今日はお遊戯の日であるから会集がすむと直ぐに前日よりのつづき蛙の遊戯を教へる。これは運動量が大きいので何回も繰返すのが困難である。子供は飛ぶのを非常に岳んでこの遊戯を岳ぶ。今日は二番を教へた。お庭が湿つて居て出られないのでお伽話会をする。	十一月廿九日 金 晴 今日も昨日のような大変暖かいいお天気である。こんな日にどう云ふわけか欠席者が五人もあった。サト子さんの顔が見えない。昨日ちよつときびしく叱つたものだから多分そのためであると思ふ。十一月三十日は○○○○○退園。 ○○○○○訪問。昨日から登園する事に決めた。	○○ちゃんの□□□い○○○さんの桃太郎さん 武子さんのサルカニ、最後に鬼のしくじりを私が話した。みんな一生懸命になって聞く。気弱な○○ちゃんや○○○さんは目に涙を浮かべていたらしい。		

自十一月九日 至十二月十四日 保育豫案	月 塗絵（紅葉） 遊ギ（主として行進の練習）	火 遊戯（練習）	水 園外	木 手技（ポスト） 画戯	金 遊戯 お話（かなりや）	土 園外	
十二月九日 月 晴 この一週間程子供の出席がいい。会集のあとお部屋で遊ギ行進の練習をする。第二幼稚園参観後一層自分の神経がいら立って子供につよく当たる。悪とは感じつつ五、六人づつに分けて行進の練習ばかりする。 先週した残りの児の紅葉塗絵をする。 十二月十日 火 雨 食事前後の訓練と云ふか今日は随分おとなしく感心に出て嬉しく思った。いつも最後になる肇さんも今日は皆と一緒にすむ。「□さんがかまった」（繰返し記号）と泣く者四人、泣く者も泣かさる者もいつも同じ子で○○と○○には本当に閉口する。何度注意しても其時かぎりで効果がない。 十二月十一日 水 晴 今日は園外保育の日であるが雨後のため止むなく中止する。いつも□□の日は定つて雨か風の強い日で張合がない。 此の間形だけ作らせて置いたポストの続きをした。粘土でポストの土台を作るのであるが画戯が落ちためか中々うまく立つことが出来ない。平易な積もりであったが子供には大分むづかしい。							
仕方なく三つ程共同製作にして後は立つと子供に持ち帰らす。 十二月十二日 木 晴 乱暴な子、我儘な子供達には何度注意してもちつとも効果がなくあまりに口やかましく云ふのもいけないと思つて三郎さん、太郎さんの二人についての【作物語を聞かせる。○○が近頃幾分○○ちゃん等と遊ふためか大分いたづらをするようになって来た。□てに慣れて来たせいも全体として子供の【ぶ作法】になつてきた事を悲しむ。 十二月十三日 金 晴 昨日今日は全く□のような陽気である。食事がすむとお誕生会をした。プログラム通り次々に色々の演技が進行する。今度は劇が二つ三つ加つて子供の興味を増した。特に三組の桃太郎さんは滑稽でおもしろかった。全体として、子どもの大変騒がしくて落付がなかった。午後からのため疲れていると思われる。 十二月十四日 土 晴 三・四は続いて迎も暖かなお天気を幸ひ 備考 久し振りで練兵場へ出掛けた。子供は□常な喜びで鬼ごっこや走り会等して遊ぶ。枯草の上でしばらくお話をする。 ○○○○へ電話す。負傷のため□年中欠席とのこと。							

							自十二月十六日 至十二月二十一日 保育豫案
	土	金	木	水	火	月	
	園外 遊戯 【時計】 雪	遊戯 【時計】	手技 お話 風船	園外 凧の製作 つづき	遊戯 【時計】 凧の製作	手技 羽子板と羽根	
<p>十二月十六日 月 晴 粘土細工は□□する□□□□□□ 女兒に羽子板、男児に粘土の自由製作をさせる。缺 の使い方練習が不十分なため大変出来であった。缺 今日から新しいお砂場が出来たので男の子は大喜び で遊ぶ。</p> <p>十二月十七日 火 雨 今日はお遊戯の日である。これ迄教えたのおさらい をすることにした。女の子は大方真面目に喜んです る□□□□□□さん、○ちゃん、○ちゃんの3人に いつも困らされる。新しい唱歌として僕の歌を教へ る。唱歌として別に教える事は余程むずかしい。勿 論その□方の拙なためである□てど 遊戯と共に教へる方が遙か子供の習得が早い。 男児の凧の絵、海辺に日の出を描かす。</p> <p>十二月十八日 水 晴 園外当【番】であるが□が悪いため中止する。男児 に凧のつづきをさせる。子供は逆も大喜びで一生懸命 になって作った。これ迄手技をした内でこんなに 熱心にしたのは始めてであった。女兒には自由に折 紙をさせた。</p>							
<p>十二月十九日 木 晴 田中病気のため早退する。</p> <p>十二月廿日 金 雨 お遊戯時計を教えたいと思っていたが、自分が病気後のため出来ないのを悲 しく思う。 女兒の風船製作のつづきをする。括り方がむづかしいので個人個人につくる 事が出来ない。共同製作にして二つ作る事にした。</p> <p>十二月廿一日 土 晴 今日は大変暖かな春のような日和である。お遊戯時計の練習をする。逆も簡 単なので直ぐに出来る。雪やこんこんのお遊戯は子供が非常な興味を持って 喜んでする。</p>							

	土	金	木	水	火	月	自十二月廿三日 至十二月廿四日 保育豫案
					終業式	遊戯 時計の練習 雪	
							十二月廿三日 月 晴 今日は大変冷たい日である。子供は大方火鉢に寄って絵本等見て遊ぶ。お遊戯時計と雪のお稽古をした。

自一月八日 至一月十一日 保育豫案	月	火	水 始業式	木 描方 林檎の写生	金 遊戯	土 誕生会 お鏡開き	
<p>一月八日 水 晴 今日から新学期が始まる。寒さが厳しいため、子供は火鉢にのみ寄って元気がない。始業式のあとで各組のお遊戯をした。長いお休みの直後なのでどの組もいつもより活気がなく、【従って】下手であった。お【部屋】でお正月中のお話等をしてお帰りした。</p> <p>一月九日 木 晴 十二人の子供を【三分囲】に分けてりんこの写生をした。写生と云うよりは臨画である。 彩色は相当に出来るが形が逆もむづかしく一人で大体の形だけ自分が描く。それでもバックをつけたら林檎らしく見えて○ちゃんのと○○さんのは子供の成績としてはいい様と思う。</p> <p>一月十日 金 晴 今日新しく○が紫組に入る。また性格等本当に分らないが初めての日から一人でおとなしく自分の側についてよく遊ぶのを嬉しく思った。お遊戯も分からぬなりにみんなの真似をして覚えようと熱心である。唱歌だけ既に教えて置いた。僕の歌の遊戯を教えた。題目の通り男児の遊戯であるので大変元気のある遊戯□やさしいので子供は喜んで何辺繰返しても倦かない。</p>							
<p>スキップをする子はいつも定って十四五人であとの子（大方は男児）は厭々と云ってどうしてもしないのにいつも困って居た。 今日初めて円を作って坐り一人で円周を一回して自分自分の席に就かせる様にしたら一人残らず出来た。こちらも仕むけ工合で一言もなく出来たのを愉快に思った。</p> <p>一月十一日 土 晴 今日はお誕生会とお鏡開きを兼ねて終日愉快に遊んだ。いつも通りお祝の後、プログラム通り進行する。そのあとお部屋でみながお汗粉を頂く。みんなが逆も嬉しそう。時間が少し遅くなったので急いでお帰させた。</p> <p>備考 ○○○さんより電話あり。歯痛のため三、四日欠席とのこと。 ○○○○○ちゃん、□五、六日間欠席との電話あり。</p>							

自一月十三日 至一月十九日 保育豫案	月 林檎の写生	火 遊戯(動物園) 歌劇(舌切雀)	水 園外保育 □□園 一案 花の切紙	木 お話 トロヤ木馬 舌切雀	金 遊戯 動物園 女兒 乳母車	土 園外保育 二案 お話	
一月十三日 月 晴 寒さのためか今日は六人も欠席者がある。お庭の藤棚を修繕して居るので狭いお庭が猶更せまくて不都合である。この前した林檎の写生を残りの子供にさせその後四十分程、かくれんぼや鬼ごっこなどして遊ぶ。子供同志であると直きに倦いてしまう様であるが自分も一所になって遊ぶと僕も入れて僕も入れてと□□の子が皆仲間になっていつ迄もいつ迄もおもしろく遊ぶ。	一月十四日 火 曇 象さんのお遊戯一番を教えた。いつも黄組のするのを見慣れて居るせいか割合早く形だけは覚える。すみ子ちゃんが遅刻して来たのでいつ迄もぐずぐずしてお部屋に入らない。機嫌のよい時は大変素直ない子であるがちよつと気に入らぬことがあると迎も早速に直らない。無口な淋しい子である。舌切雀(劇)の唱歌を少し教えた。	一月十五日 水 晴 園外保育の日であるが道が悪いため中止。切紙細工をすることにした。鉄の使い方も此頃では大分上手に出来るようになった。	一月十六日 木 晴 お話をしましょうと云うと子供は何よりも大喜びでお行儀がよい。トロヤの木馬と舌切雀のお話をした。	一月十七日 金 晴 お遊戯象さんの二番を教えてから行進の練習をした。リズムに合わせて軽く、又強く歩くのが中々むづかしい。京子さん一人だけは相当うまく出来るがあとの子はまだそれだけよく耳が発達して居ないと自分の指導法の落度のためどうも鈍重である。食事の折、○ちゃんが何もしい○ちゃんの頭を自分がちよつと廊下に居る間にたたいたと云って泣いて居る。どうも○ちゃんは一倍横着な上、調子がいいと直ぐに他の子をかまってしまう。何度か○ちゃんに謝るように云ってもどうしても頑固できかない。本当にいやな性格の子である。	一月十八日 土 晴 久振りで練兵場へ行つた。風が強いので随分寒い。思う存分広い□練兵場のみなど鬼ごっこをして遊ぶ。体が温まると□草の上で一休み。羊のお話をした。もう本当に何とも云えぬ愉快な嬉々しい気分である。子供もおそらく自分と同じ気持であろうと思う。		

自一月廿日 至一月廿六日 保育豫案	月	火	水	木	金	土
<p>一月廿日 月 晴</p> <p>今日は迎も暖かな小春日和のやうな日である。お庭の日向で男児にトロッコ（木工）を作らす。木工が初めてな為珍しがつて大喜びである。中途で小池先生からお伽話をきいた。お話が大変お上手なので子供は初めからお終ひ迄笑い通して【聞】く。まづいながら形だけ5人程出来上がった。</p>	<p>手技（木工）男児 トロッコ 女児 切抜 馬</p>	<p>遊戯 動物園 □□</p>	<p>園外 一案 奮児 切抜 馬 手技 トロッコ つづき 女 児の乳母車</p>	<p>お話（三匹の豚と狼） 唱歌 紀元節 舌切雀</p>	<p>遊戯 動物園 汽車 梅に 鶯</p>	<p>園外 一案 塗絵</p>
<p>一月廿四日 金 晴</p> <p>朝出勤して直ぐにお部屋に入るといつも早い○○○ちゃんに○○○ちゃんが私を見ると嬉しそうに先生が今日は見えたねと○○○さんがいかにも嬉しうな顔をする。舌切雀の劇を平易にして五、六回練習して見たが予想以上子供にはむづかしくて迎も出来そうにないため止むなく中止することにした。梅に鶯と云う唱歌劇の歌の初めだけをちよつと前に教えて置いたらこの方がいいと子供に□□□□お稽古した。</p>		<p>一月廿五日 土 晴</p> <p>今日はあまり暖い日でもないが久し振りのため□□園に出掛けた。園外と云うと子供は迎も大喜びである。○ちゃん、○○○ちゃんの二人は先生方の御用のため残るべく勧めてもどうしても□□□□様子である。</p> <p>往復の道はこの前練兵場へ行つた時不行儀だったので繰返し注意して置いたためか大変お行儀がよかつた。</p> <p>□□園の前でみんながお帽子を取つて今日は□□ならをする。とても可愛かつた。</p>				

自一月廿七日 至二月一日 保育豫案	月 手技 木工 男児 折紙 女児 乳母車 自由	火 遊戯 唱歌 紀元節 ラ ヂオダンス(一番) 動物園 の練習 其他	水 園外 東照宮 一案 切抜 き お話	木 お話會	金 遊戯 唱歌 紀元節	土 園外 □□園	
<p>一月廿七日 月 晴 今朝は薄曇りの小寒い朝であるがお庭で女兒の木工細工をした。</p> <p>力仕事なので寒さも一向に感じない。その内にお日様が出て非常に暖い日和となる。男児に比べて余程この木工は困難である。薄銚板を切るだけで三十分余もかかるので気短な子や根気のない子供は先生切つて先生切つてと騒がしい。</p> <p>それでも三つばかり共同製作に依つて出来上がった。食事前に〇ちゃんが〇〇ちゃんをたいたと云つて又さわいで居る。</p> <p>みつちゃんに謝らすように何度云つてもどうしても云はない。三十分程窓際の口に立つて動かない。みんなが御飯を頂きにかかると初めて泣き出した。もうお終には自分が根気負けしてしまふ。</p> <p>一月廿八日 火 曇 今朝の会集はいつもより大変子供が元気である。ラヂオダンスの一番を教えた。スキップで前後するのが割合むづかしい。</p> <p>迎も喜んで何度も繰り返す。</p>							

<p>自二月廿四日 至三月一日 保育豫案</p>	<p>月 おひな様 つづき 木工 つづき □話 おやゆび姫</p>	<p>火 遊戯 春よ来い 雀踊り (其他好きなもの) 積木競 争</p>	<p>水 園外保育 目的地 東照 宮 目的 神社参拝 落 葉樹 常緑樹 観祭</p>	<p>木 唱歌 おひな祭り</p>	<p>金 遊戯 1. 行進練習 (□□ □□□□自由)に動く練習 2. 練習□□□□□通いや んせ</p>	<p>土 創立記念日</p>	
<p>月曜日 曇 少し暖かすぎる。子供の気分も何となくいららして居る様な気がする。天候のせいも幾ら影響していると思うが。すまないのは保育者が少い体の調子がよくないのでそれが子供の気分を反映している結果じゃないかと思う。</p>	<p>本日は出来ないで、お部屋でおひな様のつづきをする。男児四、五人チョーク画しなかったのでさせた。おひな様の方が七人にもなったので、どちらも充分な指導が出来なかつてすまないと思つた。欠席が多かつた。</p>	<p>おやゆび姫のお話は大喜びで聞いてられた。アンデルセンの童話は【美】しいと思つた。</p>	<p>火曜日 晴 気持ちのいい日本晴。どんなに元気のない子も今日は明るく感じられた。</p>	<p>お机が□□に代えられてお梅子が入つたのでとても大喜び。丁度お昼食の時だったので、口々においしいおいしいと云つて喜んだ。遊戯の練習は主として母の会にさせるのをする。また、二三不十分ながあるから気をつけたいと思ふ。</p>	<p>水曜日 曇後雨 園外は天候の都合で中止。 おひな様のつづきをする。男児にも壁掛のおひな様を作らせる。【措】み方が簡単なのでとても大喜びをする。箱のおひな様は□□出来た様であるが、まなこれから三日かかる子もある。男児が共同でおひな様の段のついたのをしたいと云う。はじめ○ちゃん○ちゃんが□□□□いたのを他の子が□□□□たわけである。</p>		
<p>すっかり□□□□がおひな様気分になつてしまつている。お唱歌会をする。子供が大変元氣すぎる程であつた。後片付けがうまくいかないのに注意した。</p>	<p>木曜日 晴 ひな祭りが来る。母の会が近よる。やがては修子式も来ようという昨今子供の私も多忙。あちらを向いてもこちらを向いてもこちらを向いてもしたいこと事だらけの忙しき。あわただしいので子供に対する気持ちも自□□□せくして居る様で申しわけない。</p>	<p>おひな祭りのお唱歌をする。うまくない。おひな様のつづき(手技)をする。アンデルセン童話の中「旅行カバン」をする。大喜びで聞いてくれる。</p>	<p>金曜日 雨 今日も雨。欠席は割合に少ない。 お遊戯をする。舌切り雀が思う様に出来ないで少しいららして子供にすまないと思つた。○□□□に板面をさせるので少し練習させたが之も亦思う様にみてやれなかつたのですまないと思つた。子供が部屋に□をすいおひな様のつづきを出して始めるのでこちらから何をしろなんていい出す必要の起こらなくなつたのは嬉しいことである。男児が共同でひな段を作りかけた。まだ未完成が多いがおひな様気分が部屋に【広がる】様になつて嬉しい。誰も仕事□□めかけているせいか部屋の整理が不十分。之は大いに自分にも落度のあることとて申しわけない。整理のうまくなかないのは自らの大きな欠点の一つである□□き出し□□なる様な事さえあるけれど。</p>	<p>土曜日 晴 気持ちのいいお天気。昨日お遊戯の装飾をしたので今日は子供にとっても喜ばれた。開園記念日当日。母の会の予定が変更されたので今日は普通の保育をする。練習が不十分なので節句によつて□□□□様に練習するつもりでいたが思う様に進ばない。今更年ら焦つてもどうすることも出来ないが恥ずかしいことだと思ふ。子供は節句の□□□□とどんなに待ち遠しいから随分元氣よく遊んだ。</p>			

<p>自三月三日 至三月八日 保育豫案</p>	<p>月 おひな祭り お遊戯室にて 自九時半 至十一時半</p>	<p>火 遊戯 1. いくき 進写練 習 2. □□遊戯練習</p>	<p>水 木工 つづき ヌリエ おひな様</p>	<p>木 地久節</p>	<p>金 遊戯 1. □□遊戯練習 2. 競争遊戯 3. 【行進】 練習</p>	<p>土 園外保育 行先 練兵場 目的 早春□□觀察</p>	
<p>月曜日 雨 待ちのぞんでいたひな祭りの当日がこんなにひどい雨降りなので悲観した。然し降っても子供の心持にはそんなに影響しないのかとても元氣である。演技はやはりまだ練習不十分。板席画の時に特にそれを強く感じた。</p>	<p>舌切り雀は独唱でできる子がなからあんな□□かな美しくひな段の前で種々演技をしたりお話を聞いたおだんごを頂いたり子供等は本当に嬉しそうだった。</p>	<p>火曜日 晴後雨 カラリと晴れて□□気持ちのいいお天気であった。お遊戯をする。緑組黄組紫組三組です。緑組の指導が思う様に出来ないのですまない。お昼に山口の大蛇のお話をする。大喜びできいてられたが中知つてる子があつて先を先をと口走つてしにくかったがそれだけ活氣もあつて愉快だった。</p>	<p>水曜日 雨 又今日も雨降り。○○○○忌引きのため一ノ二と一ノ四合同で保育する。大せい一所なので子供等とても大喜びをする。</p>				
<p>朝の会□□後お部屋でお唱歌会やら【法話】□□会をする。みんな□□のものをやる。紫組の女兒が□□お祈をする。○○○○のお話は大変にうまかった。後せがまれて七匹の山羊と狼をする。調子が良かったのが話す方の自分としても大変愉快だった。それがすんでからお遊戯室で兵隊ゴッコをして遊ぶ。前にのつてあんまり大きな声を出したので声がかれてお昼食の時にかすれて子供に笑はれたお昼食の時は二組一□□なのでとても大喜びだった。明日は地久節なので今日はお□□前に前に会集があつて【園長先生】から明日のお話があつた。もうお天気になりたい。</p>	<p>木曜日 雨 皇后陛下御誕辰ニツキ休園</p>	<p>金曜日 曇 毎日はずきりしない天候はホトホト困りぬいた。今日もやはり昨日と同じ様に一ノ二組一ノ四組合同にて同じ部屋に入れて保育する。部屋がせまい為に今日は昨日より以上に困難を感じる。軍人ゴッコをして皆で遊ぶ。ダルマかくしは□□のつていつまでたつてもやめ様といはないのでとうとうお昼食まで遊ぶ。お昼食の時は大変混雑した。□□□が飛び出して閉口した。自らの取扱いの至らぬことにこんな時は泣き□□□程恥ぢ入りたくなる。</p>	<p>土曜日 雨 今日も又雨。やはり昨日と同じ様に二組合同。今日は部屋をかえて緑組の部屋です。昨日よりも広くなつたせいが大変□□しい。お遊戯ではやはり軍人ゴッコ。後お部屋でお雛様のヌリエをさせる。雨が降つて子供の気がざわついて本當に困つた。</p>				

自三月十日 至三月十五日 保育豫案	陸軍記念日 【晴ナラバ】 午前中 模擬戦参観 誕生会 三月誕生会	唱歌 卒業ノ歌 遊戯 主 トシテ母ノ会 出【演技】 練習	木工 つづき ヌリエ 工 場	木工 つづき 【唱遊】 卒業ノ歌 母ノ会出【演技】 練習	【演技】練習午前中 母ノ 会午後□□	木工 つづき ひなの段 つづき	
月曜日 晴 久しぶりの快晴【それに】今日は陸軍記念日である。欠席が少なく嬉し。午前中はヌリエお遊戯等してお部屋で静かに遊んだがお昼後遊戯室にて三月出生幼児の誕生會並び陸軍記念日の御祝の意味の遊戯会を俵す。	男児を主として軍にちなんだものを主としてさせたが練習不【充分】なためあまり元気がなかった。それに紫組黄組緑組合同の人数が多すぎるので練習の足りない組もあって□□しなくて見にくかった。○○○○の法話は□□な為きられなかった。	火曜日 晴 気持ちのいいお天気であった。母の会が近づいて来るので何となく気分が落ちなくて子供にもすまない。お遊戯の時も【興味】を□から□□してまるで強制的なところが目立つ【よ】ようになって□□なから恥ずかしい。	欠席が多い。感冒かしら。○○○○一が午前中で【帰った】。	水曜日 晴 はしかが流行するそうである。今日は男児が半数も欠席したので心配になる。卒業の歌をあんき もう子供等と別れるのも目前に迫って来た。			
あれもこれとも思ひが方々にうつって心も【落ち付かない】 昼食のときに園の【鶏】の産んだ卵を焼いて子供等に分ける。□の部屋の火鉢なので皆にお□□させてお□□が出来とった。そんな□のは出来なかったが皆は大した喜び方で本当に嬉しそうであった。	木曜日 雨 はつきりしないお天気である。朝は随分寒かった。相変わらず欠席が多い。男児が多い様である。完成期に於てこんなに欠席するので落ち付かない。母の会の遊戯の準備も多いのに気分ばかり焦って何も出来ない【すすま】い。子供になれて来たし個性も大分わかって来てやりやすくなって来た。	金曜日 曇後晴 暖かいないお天気であったがどんよりしてはつきりしなかった。明日母の会なので午前中一の組だけ遊戯室でプログラムの順をおって練習する。だらけ切つてとても不活発だった。明日の晴の場□が案じられる。お昼食後□□食が□□□□を揚りに来た。列連のところを揚つて□□ふ時なんか大喜びしていた。	土曜日 晴 心配していた天気がカラリと晴れて何よりもうれしい。母の会当日である。子供等はお母様に来て頂けるといのでとても大喜び。午前中は部屋で製作をする。□□調査をする。午後一時かつきり。母の会遊戯会は始まる。前日の練習と比して今日は子供がとても緊張して出来ばえもよかつた様に思はれ嬉しかった。熱のある母の□□の□□と□□□□しい。				

自三月十七日 至三月二十日 保育豫案	月 お□□□工 電車 ヘチマ染色 樹木製作のため 修了式の唱歌練習	火 お□□□工 つづき キビガラ□□ 電柱 樹木製ヘチマキビガラ 粘土 女二人□□	水 修了式唱歌練習 修了幼児【卒園】 幼児 お別れの会	木 修了式(製作物陳列)	金 	土
月曜日 晴 毎日お天気つづき。随分暖かになって□□□□来た。修了式を前に机□□随分と幼児も先生も□懐かしい。	もうあます日はわづか。慌□□□□。お□紙製作(電車)にとりかかる。皆熱心にする。やっとならぬのでと思ふと胸いっぱいになる。お食事□□から修了式の□書□の練習をする。ヘチマを染色した。案外よく染まるものである。うれしかった。	火曜日 晴 電車の製作。ボール紙細工は【主作】的な物をさせる時には大変らくと思ふが少し不器用な子供には扱いにくいところも【見受け】られる。キビガラにて電柱を製作させる。食後修了式の練習をする。	水曜日 晴 製作物完成 電車 キビガラ□工(電柱) ヘチマの樹木などを完成する。台を粘土でした。出来前は割合に面白いものと思つた。子供等も喜んでた。食後は修了幼児、【卒園】 幼児のお別れの会をする。けふは大きい組の子供は皆お□様である。一三三の組の子がたくさん変わった御遊戯をみせてくれた。	木曜日 晴 	金曜日 晴 	土曜日 晴
○○先生に御話をきく。お□□子はいつもと変わったものなので大喜びでありにはしやぎすぎで終りの頃は大変だった。「左様なら」を元気にして、お別れの会は幕を閉じた。	木曜日 晴 どんより曇つた空。雨を案じ乍ら出勤。登園 わづかではあったがすっかり子供となじんできました今日である。元気で遊んでいるのをみても胸がつまる。式は九時半開催。練習の時よりも□□□□□□□□は出来た。式後製作物の陳列を父兄の方に見て頂いて幼児はお庭で遊ぶ。	□□につれられて「さようなら」して帰って行く後姿を見ながら【変な】寂しさにとられる。喜んでやらなければならぬと思ひ乍らも。製作物も他の組に比べて□少なし陳列の後もしよんぼりして寂しい。一人きり部屋に帰つてしばらくは呆然としてなす事も忘れていた。	□□につれられて「さようなら」して帰って行く後姿を見ながら【変な】寂しさにとられる。喜んでやらなければならぬと思ひ乍らも。製作物も他の組に比べて□少なし陳列の後もしよんぼりして寂しい。一人きり部屋に帰つてしばらくは呆然としてなす事も忘れていた。	□□につれられて「さようなら」して帰って行く後姿を見ながら【変な】寂しさにとられる。喜んでやらなければならぬと思ひ乍らも。製作物も他の組に比べて□少なし陳列の後もしよんぼりして寂しい。一人きり部屋に帰つてしばらくは呆然としてなす事も忘れていた。	□□につれられて「さようなら」して帰って行く後姿を見ながら【変な】寂しさにとられる。喜んでやらなければならぬと思ひ乍らも。製作物も他の組に比べて□少なし陳列の後もしよんぼりして寂しい。一人きり部屋に帰つてしばらくは呆然としてなす事も忘れていた。	□□につれられて「さようなら」して帰って行く後姿を見ながら【変な】寂しさにとられる。喜んでやらなければならぬと思ひ乍らも。製作物も他の組に比べて□少なし陳列の後もしよんぼりして寂しい。一人きり部屋に帰つてしばらくは呆然としてなす事も忘れていた。